

平成 25 年 1 月 10 日

各 位

会社名 キューピー株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 三宅 峰三郎  
 (コード番号 2809 東証第1部)  
 問合せ先 取締役経営推進本部長 井上 伸雄  
 電話番号 03-3486-3331

## キューピーグループの中期経営計画（平成 25 年度～平成 27 年度）について

当社はこのたび、平成 25 年 11 月期からの 3 年間を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 基本方針

当社グループは、グループ全体で挑戦する風土を醸成し、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長を遂げるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした 4 つの経営方針（経営基盤の強化、国内でのイノベーション、海外への本格展開、将来への布石）を定めております。

グループが連携して中期経営計画に取り組むことにより、企業価値の一層の向上に努めてまいります。

#### 2. 主な取組み

##### ① 国内と海外の主な取組み

国内	海外
〈競争力の向上とシェアの拡大〉 ・ 基幹領域の深耕 ・ 新たな販路への展開 ・ 新技術の獲得と付加価値の創出	〈国内で築いた品質力と提案力の発揮〉 ・ アジアのマヨネーズ市場を拡大 ・ 既存エリアの深掘りと新規エリアの開拓 ・ グループ資源を活用した商品領域の拡大

##### ② 事業別の主な取組み

事業区分	主な取組み
調味料	・ サラダ領域や用途の拡大で、サラダ調味料の需要を創出 ・ エリア特性に応じた展開で、アジアのマヨネーズ市場を拡大
タマゴ	・ 付加価値商品の開発と展開で、フードサービス市場を深耕 ・ 最適生産の追求による事業コストの低減
サラダ・惣菜	・ 技術力と展開力で、サラダ・惣菜、カット野菜、CVS 米飯の 3 つの分野を拡大 ・ ネット販売や宅配などの新領域への挑戦
加工食品	・ 生産体制の最適化やカテゴリーの精鋭化による収益基盤の再構築 ・ 各カテゴリーの選択と集中で、商品開発や販路開拓を強化
ファインケミカル	・ 新たな機能創出でヒアルロン酸の付加価値を高め、展開領域を拡大 ・ 医薬分野への可能性を拡大し、新たな価値を提供
物流システム	・ 事業体制の再構築による輸配送業務の最適化 ・ 物流ネットワークの構築などによる物流サービスの進化

### 3. 連結業績目標

(金額の単位：億円)

	平成 24 年度	平成 27 年度目標	増減
売上高	5,050	5,600	+550
営業利益	234	265	+31
営業利益率	4.6%	4.7%	+0.1%
経常利益	245	269	+24
当期純利益	123	141	+18
EBITDA	375	446	+71
ROA (総資産経常利益率)	8.4%	8.4%	—
ROE	7.4%	8.0%	+0.6%

※EBITDA=営業利益+減価償却費

(事業区分別) 上段=売上高、中段=営業利益、下段=営業利益率

(金額の単位：億円)

事業区分	平成 24 年度	平成 27 年度目標	増減
調味料	1,386	1,670	+284
	115	116	+1
	8.3%	6.9%	△1.4%
タマゴ	856	940	+84
	49	50	+1
	5.7%	5.3%	△0.4%
サラダ・惣菜	916	1,000	+84
	31	35	+4
	3.4%	3.5%	+0.1%
加工食品	591	630	+39
	△10	0	+10
	△1.7%	0.0%	+1.7%
ファインケミカル	83	140	+57
	10	22	+12
	11.7%	15.7%	+4.0%
物流システム	1,157	1,160	+3
	32	36	+4
	2.8%	3.1%	+0.3%
共通	62	60	△2
	8	6	△2
	12.4%	10.0%	△2.4%
《 合計 》	5,050	5,600	+550
	234	265	+31
	4.6%	4.7%	+0.1%

※平成 25 年度より、事業運営の加速と収益性の向上を図るため、一部事業区分の変更を行います。なお、平成 24 年度は新事業区分にて表記しております。

(事業区分の主な変更内容)

- ・旧調味料・加工食品事業は、調味料事業と加工食品事業に分割いたします。
- ・旧健康機能事業は、ファインケミカル部門が事業として独立し、ヘルスケア部門を加工食品事業に移管いたします。

以上